

## 2004 年度 委員会活動成果報告

(2005 年 3 月 8 日作成)

委員会名	建築生産・流通情報小委員会	主 査 名：南林 和
所属本委員会 (所属運営委員会)	情報システム・技術委員会	委員長名：河村 廣
設 置 期 間	2001 年 4 月 ~ 2005 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	<p>建築生産分野におけるコンピュータを用いた生産概念を定義し、それによる設計から施工にいたる業務の流れと、これに付随する情報の流れを整理することを目的として調査研究を行い、その成果をシンポジウム、研究協議会、建築雑誌、あるいは一般専門紙等を通じて、ひろく世に問い啓蒙活動を行う。また建築生産におけるコンピュータによる「技術データ」の施工ならびに製造への伝達・利用と、設計から施工・部材製造段階に至る「管理データ」の伝達・共用について調査し、コンピュータを用いた合理的な業務処理および管理のあり方を明らかにし、これに基づき実務指針を刊行する。</p> <p>1) 2001 年度 ・ 建築生産情報システムの新しいモデルの収集と整理・分析</p> <p>2) 2002 年度 ・ 建築生産情報システムの新しいモデルの体系化(あるべき姿の追求)</p> <p>3) 2003 年度 ・ 建築生産情報システムの新しいモデルの体系化(あるべき姿の追求)(継続)</p> <p>4) 2004 年度 ・ 「建築生産にかかわる伝達・共用されるべきデータの体系化と実務指針」の改訂版刊行 ・ 「建築生産にかかわる伝達・共用されるべきデータの体系化と実務指針」の改訂版による啓蒙・普及</p>	
委員構成 (委員名(所属))	<p>南林 和 (大成建設) 八坂 文子(鹿島)          椎野 潤 (早稲田大学) 石川 嘉崇(電源開発)          北川 啓一(日建設計) 纈纈 博司(コア・システムデザイン)          中村 裕幸(清水建設) 永易 修 (フジタ)          原田 清 (共栄学園短大) 古坂 秀三(京都大学)          平井 博彦(川田テクノシステム) 伊達 政明(大林組)</p> <p>【技術情報WG】          八坂 文子(鹿島) 廣澤 雅之(戸田建設)          伊達 政明(大林組) 平林 裕治(清水建設)          竹添 芳孝(大和ハウス工業) 橋田 三樹雄(新菱冷熱工業)          松岡 臣人(電源開発)</p> <p>【管理・流通情報WG】          南林 和(大成建設) ○永易 修(フジタ)          石川 嘉崇(電源開発) 樋口 正一郎(戸田建設)          纈纈 博司(コア・システムデザイン)          佐野 興一郎(石本建築事務所) 常深 洋(大成プレハブ)          坂野 弘一(鹿島) 原田 清(共栄学園短大)          平井 博彦(川田テクノシステム) 山内 光治(清水建設)</p>	
設置 WG (WG 名：目的)	<p><u>技術情報WG</u>：設計のCADデータ等，建設される建築物の内容を示す技術的なデータの伝達と共用を研究する。</p> <p><u>管理・流通情報WG</u>：品質・日程・原価・安全・労務等の諸管理のデータの伝達と共用を研究する。</p>	
2004 年度予算	160,000 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	<p>第11回 建築設計および生産情報の流れシンポジウム  「情報通信技術が実現する建築生産の協業のあり方」  日 時：2005年2月4日(金) 13:30~17:00  場 所：建築学会302・303会議室  出席者：合計31名(会員22名、会員外8名、学生1名)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>主旨説明 : 南林 和(当小委員会主査/大成建設)</li> <li>基調講演「情報化時代のゼネコンと専門工事業者の協業のあり方」 : 古阪秀三(京都大学)</li> <li>情報通信技術を駆使した建設ビジネスモデルの実践 <ul style="list-style-type: none"> <li>「なおしや又兵衛」におけるASP工事管理、携帯電話による報告、廃棄物管理 : 斉藤 彰(前田建設工業)</li> <li>「作業所Net」によるASP工事管理、調達業務 : 澤田憲一(大成建設)</li> <li>建設現場での情報共有ASP活用の現状と有効活用(kkeonsite事例) : 高本孝頼・佐藤総芳(構造計画研究所)</li> </ul> </li> <li>質疑応答</li> </ol> <hr/> <p>6月17日 小委員会 出席者:8名  7月16日 小委員会 出席者:5名  9月 8日 ミニシンポ 出席者:27名</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>「なおしや又兵衛」におけるASP工事管理、携帯電話による報告、廃棄物管理等 前田建設工業リテール事業部 専任部長 斉藤 彰</li> <li>「作業所Net」による ASP工事管理、調達業務 大成建設建築本部建築部 C&amp;N担当 課長 石井 清志</li> </ol> <p>10月1日 ミニシンポ(第2回) 出席者:20名</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>建設現場での情報共有ASP活用の現状と有効活用(kkeonsite事例を使って) 構造計画研究所 建設IT部 高本 孝頼 佐藤 総芳</li> <li>MS-ProjectおよびVisioを活用した工程管理システムの導入事例 (システムのデモを交えて) 西松建設 建築設計部 山岸 雄一 網屋 技術本部 PMSグループ 田村 慎治</li> </ol>
得られた成果	<p>(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無)</p> <p>今回のシンポジウムは会員外の参加が目立った。テーマの選定が建設産業の変化点を捉えたものとして参加者の興味を引いたと思われる。昨年同様、会議室での開催であったこともあり、活発な質疑がなされた。</p> <p>従来建設の情報化の中心になっていたソフトハードのアプリケーション技術に加えて、近年の情報技術・通信インフラの急速な普及により、建設をめぐる情報環境も大きく変わりつつある。本小委員会ではそのような情報通信技術と建築生産プロセスや建設関連のビジネスフローの変換という観点で、調査活動を行いその成果を学会を通して建設業界に提示することにより業界全体での環境変化の動きに幾ばくかの寄与をして来たと考えている。この環境変化の動きは今後も継続して展開して行くと考えられる。本小委員会としては、今回活動を終了するが、今後世代交代も含めて、新たな観点でこの分野に関する調査研究が行われることを期待したい。</p> <p>委員会HPアドレス：<a href="http://news-sv.ajj.or.jp/jyoho/M040/">http://news-sv.ajj.or.jp/jyoho/M040/</a></p>
目標の達成度	<p>(当初の活動計画と得られた成果との関係)</p> <p>活動計画では「建築生産にかかわる伝達・共用されるべきデータの体系化と実務指針」の改訂版の発行を予定していたが、諸般の事情でできなかった。</p>
その他評価すべき事項	特になし